

# しょう ふくし けいかく ぶ 障がい福祉計画の部

## だい しょう しょう ふくし けいかく 第4章 障がい福祉計画

### しょう ふくし けいかく きほん りねん 1 障がい福祉計画の基本理念

#### しょう しゃ じ こけつてい じ こせんたく そんちよう (1) 障がい者の自己決定と自己選択の尊重

しょう しょう うむ へだ そうご じんかく こせい  
障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性  
そんちよう あ きようせい しゃかい じつげん しょう ひと  
を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障がいのある人が  
じぶん す ばしょ えら ひつよう しょうがいふくし しえん う  
自分で住む場所を選び、必要な障害福祉サービスの支援を受けながら、  
じりつ しゃかいさんか じつげん ほか きほん てい  
自立と社会参加の実現を図っていくことを基本として、サービス提  
きよう きばん せいび すす  
供 基盤の整備を進めます。

#### さんしょう いちげん か (2) 三障がいの一元化

しんたいしょう ちてきしょう せいしんしょう かか しょうがいふくし  
身体障がい、知的障がい、精神障がいに係る障害福祉サービスを、  
いちげんてき せいど ていきよう  
一元的な制度のもとに提供します。

#### ちいきせいかついこう しゅうろうしえんとう かだい たいおう きばん せいび (3) 地域生活移行や就労支援等の課題に対応したサービス基盤の整備

しょう しゃ せいかつ しゅうろう ちいきぜんたい ささ たいせい ととの ちいき  
障がい者の生活や就労を地域全体で支える体制を整えるため、地域  
ふくしりよく かつよう きばんせいび すす  
の福祉力も活用して基盤整備を進めます。

### しょうがいふくし きほんてき かんが かつ 2 障害福祉サービスについての基本的な考え方

#### ひつよう ほうもんけい ほしょう (1) どこでも必要な訪問系サービスを保障

#### きぼう しょう しゃ にちちゅうかつどうけい ほしょう (2) 希望する障がい者に日中活動系サービスを保障

#### とう じゅうじつ ほか しせつにゅうしょ にゅういん ちいきせいかつ いこう すいしん (3) グループホーム等の充実を図り、施設入所・入院から地域生活への移行を推進

#### ふくし しせつ いっぱんしゅうろう いこうとう すいしん (4) 福祉施設から一般就労への移行等を推進

### 3 平成26年度の数値目標

#### (1) 障害福祉サービスに関する目標

目標値の設定にあたっては、国の基本指針や北海道の計画作成指針に掲げる目標に即し、札幌市の実情に応じた目標値を設定しています。

項目	数値目標	備考
入所施設の入所者の地域生活への移行者数	760人	平成17年10月から
入所施設の入所者数の減少見込数	420人	平成27年3月までの累計
福祉施設から一般就労への移行者数	200人	平成26年度において福祉施設を退所し、一般就労した方の数
福祉施設利用者のうち、就労移行支援事業の利用者数(割合)	510人 (5%)	
就労継続支援事業の利用者のうち、就労継続支援A型事業の利用者数(割合)	1,080人 (25%)	
入院中の精神障がい者の地域移行支援の利用者数	30人	平成26年度の1か月当たりの利用者数 (札幌市独自に設定する目標)

(2) 障しょうがいのある人ひとに対する理解促進たいりかいそくしんに関する目かん標もくひょう  
 (札幌市独自さっぽろしどくじに設定する目せってい標もくひょう)

こゝもく 項目	すうちもくひょう 数値目 標	びこう 備考
障 <small>しょう</small> がいのある人 <small>ひと</small> にとって 地 <small>ち</small> 域 <small>いき</small> で暮 <small>く</small> らしやすいまち であると思 <small>おも</small> う障 <small>しょう</small> がい <small>の</small> あ る人 <small>ひと</small> の割 <small>わり</small> 合 <small>あい</small>	50%	
障 <small>しょう</small> がいのある人 <small>ひと</small> にとって 地 <small>ち</small> 域 <small>いき</small> で暮 <small>く</small> らしやすいまち であると思 <small>おも</small> う人 <small>ひと</small> の割 <small>わり</small> 合 <small>あい</small>	50%	

すうちもくひょう  
数値目標 1

にゅうしょしせつ にゅうしょしゃ ちいきせいかつ いこう  
入所施設の入所者の地域生活への移行

◆ にゅうしょしせつ ちいきせいかつ いこうしゃすう  
入所施設から地域生活への移行者数

くに きほんししん  
〈国の基本指針〉

へいせい ねん がつ にち しせつにゅうしょしゃ へいせい ねん どまつ  
平成 17 年 10 月 1 日の施設入所者のうち、平成 26 年度末に  
わりいじょうかた ちいきせいかつ いこう めざ  
おいて 3 割以上の方が地域生活へ移行することを目指す。

ほっかいどう さくせいししん  
〈北海道の作成指針〉

くに おな  
国に同じ。

さっぽろし もくひょう  
〈札幌市の目標〉

へいせい ねん がつ にち しせつにゅうしょしゃ にん へいせい  
平成 17 年 10 月 1 日の施設入所者 2,528 人のうち、平成 26  
ねん どまつ へいせい ねん がつまつ  
年度末（平成 27 年 3 月末）において 760 人（約 3 割）の方が地  
いきせいかつ いこう めざ  
域生活に移行することを目指します。

	H17年10月～ H20年9月	～H22年9月	～平成27年3月
ちいきいこうしゃすう 地域移行者数 るいけい 累計	234人	373人	760人

ほっかいどうしら  
※ 北海道調べ

## ◆ 施設入所者数の減少

### 〈国の基本指針〉

平成26年度末の施設入所者数が、平成17年10月1日の施設入所者数から1割（10%）以上減少する。

### 〈北海道の作成指針〉

平成26年度末の施設入所者数が、平成17年10月1日の施設入所者数から17%以上減少する。

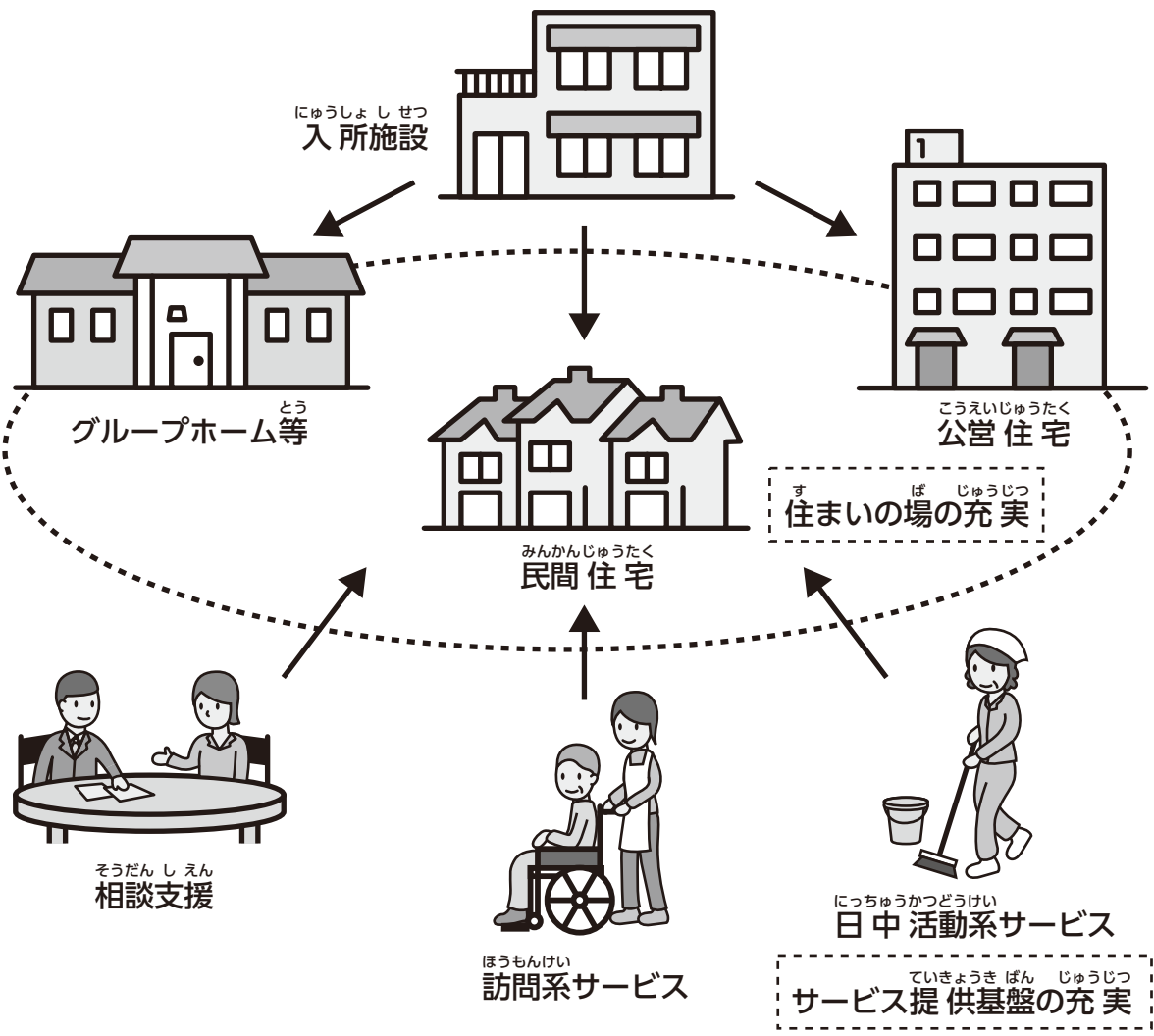
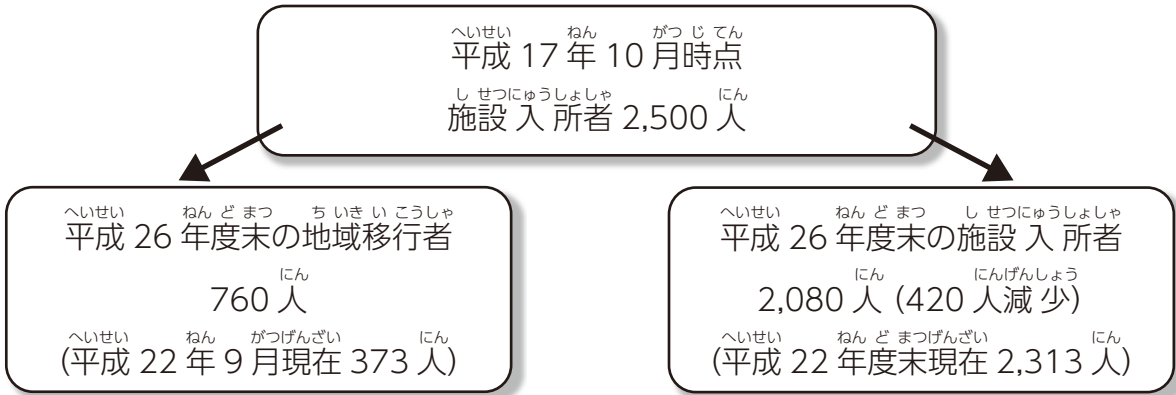
### 〈札幌市の目標〉

平成26年度末の施設入所者数が、平成17年10月1日の施設入所者数2,528人から420人（約17%）減少することを目指します。

	H17年10月	H22年度末	H26年度末
施設入所者数	2,528人	2,313人	2,108人
減少数累計	—	215人	420人

にゅうしょしせつ にゅうしょしゃ ちいきせいかつ いこう  
**<入所施設の入所者の地域生活への移行イメージ>**

へいせい ねんど へいせい ねんど ちいきいこうしゃ みこ  
 平成 18 年度から平成 26 年度 地域移行者の見込み



すうちもくひょう  
数値目標 2

ふくし し せつ いっぱんしゅうろう いこう  
福祉施設から一般就労への移行

◆ ふくし し せつ いっぱんしゅうろう いこうしゃすう  
福祉施設から一般就労への移行者数

くに きほんししん  
〈国の基本指針〉

へいせい ねん ど ふくし し せつ りようしゃ いっぱんしゅうろう  
平成 26 年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への  
いこうしゃすう へいせい ねん ど いこうじっせき ばい い じょう  
移行者数を、平成 17 年度の移行実績の 4 倍以上とする。

ほっかいどう さくせい し しん  
〈北海道の作成指針〉

くに おな  
国に同じ。

さっぽろ し もくひょう  
〈札幌市の目標〉

へいせい ねん ど ふくし し せつ りようしゃ いっぱんしゅうろう  
平成 26 年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への  
いこうしゃすう へいせい ねん ど いこうじっせき にん やく ばい にん  
移行者数を、平成 17 年度の移行実績 22 人の約 9 倍（200 人）と  
することをめざします。

	H20 年度 ねん ど	H22 年度 ねん ど	H26 年度 ねん ど
いっぱんしゅうろう 一般就労への いこうしゃすう 移行者数	74 人 にん	182 人 にん	200 人 にん

ほっかいどうしら  
※ 北海道調べ

◆ 就労移行支援事業の利用者数

〈国の基本指針〉

平成 26 年度末における福祉施設の利用者のうち、2 割以上の方が就労移行支援事業を利用。

〈北海道の作成指針〉

国に同じ。

〈札幌市の目標〉

平成 26 年度末における福祉施設の利用者見込 9,880 人のうち、510 人（5%）の方が就労移行支援事業を利用することを目指します。

	H22 年度末	H26 年度末
福祉施設を利用する人数	5,876 人	9,880 人
うち就労移行支援事業を利用する人数	354 人	510 人
(割合)	(6%)	(5%)



◆ 就労継続支援 A 型事業の利用者数

〈国の基本指針〉

平成 26 年度末において、就労継続支援事業の利用者のうち、3 割は就労継続支援 A 型事業を利用。

〈北海道の作成指針〉

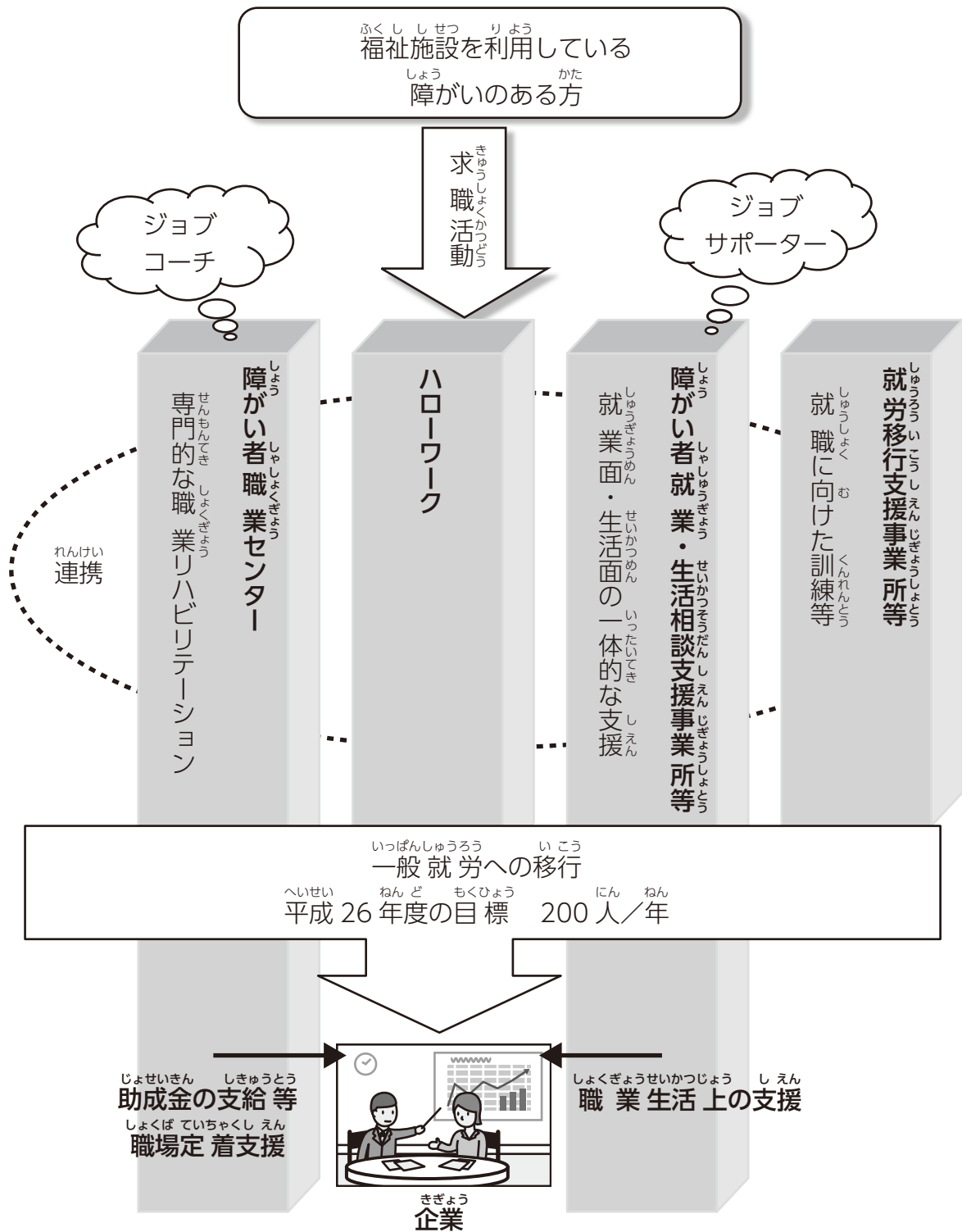
国に同じ。

〈札幌市の目標〉

平成 26 年度末において、就労継続支援事業の利用者見込 4,240 人のうち、1,080 人（25%）の方が就労継続支援 A 型事業を利用することをめざします。

	H22 年度末	H26 年度末
就労継続支援事業を利用する人数	2,783 人	4,240 人
うち就労継続支援 A 型事業を利用する人数	700 人	1,080 人
（割合）	（25%）	（25%）

ふくし しせつ いっぱんしゅうろう いこう  
 <福祉施設から一般就労への移行イメージ>

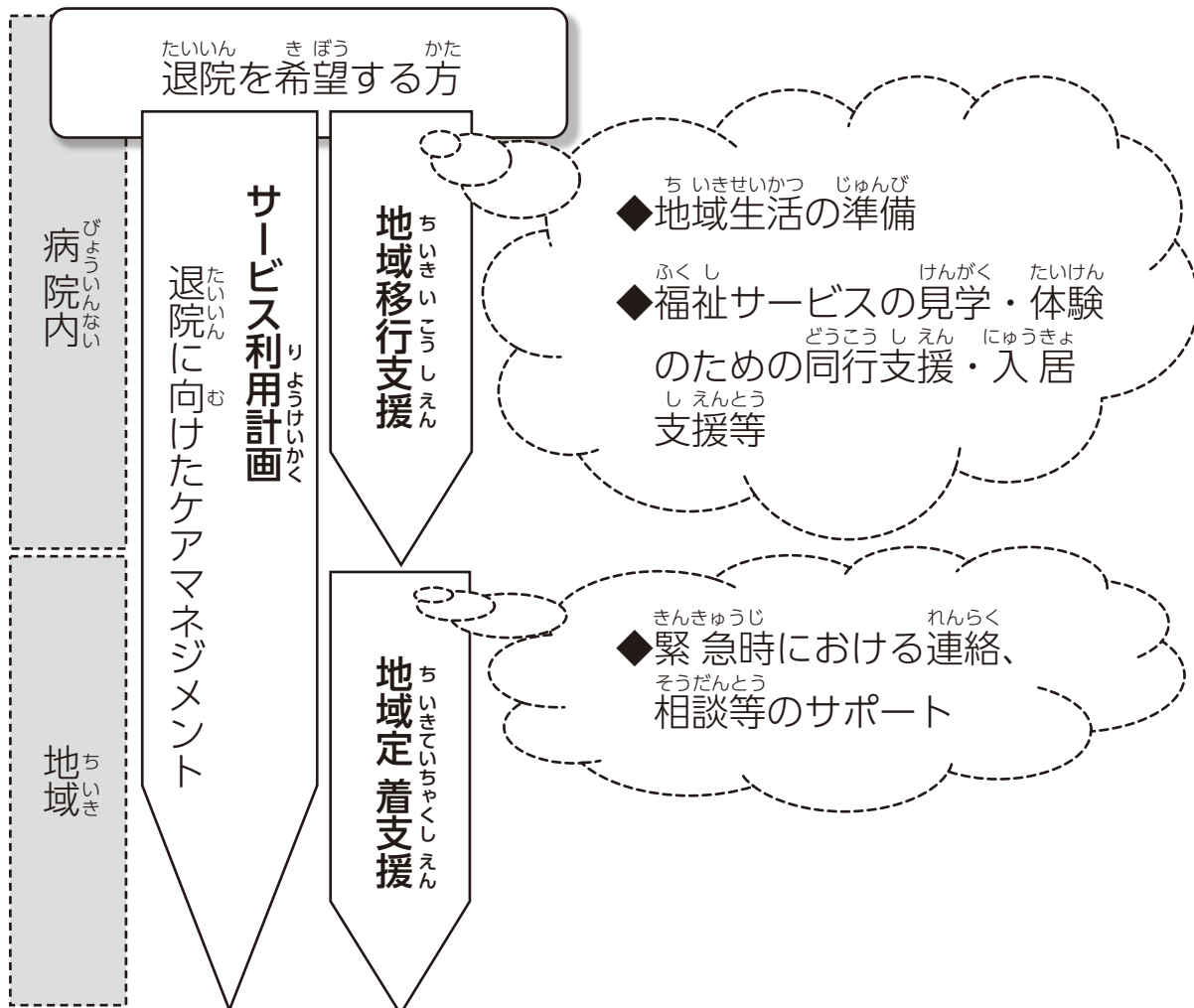


すう ち もく ひょう  
**数値目標 3**

にゅういんちゆう せいしんしょう しゃ ちいきいこうしえん りようしゃすう  
**入院中の精神障がい者の地域移行支援の利用者数**

にゅういんちゆう せいしんしょう しゃ ちいきいこうしえん へいせい ねんど  
 入院中の精神障がい者の地域移行支援について、平成 26 年度の 1 か  
 げつ あ りようしゃすう にん め ぞ  
 月当たりの利用者数を 30 人とすることをめざします。

	ねんど H26 年度
にゅういんちゆう せいしんしょう しゃ ちいきいこうしえん りようしゃすう 入院中の精神障がい者の地域移行支援の利用者数 (1 か月当たりの利用者数)	30 にん 30 人



すうちもくひょう  
数値目標 4

しょう しょう ひと たい ちいき くりかいそくしん  
障がいのある人に対する理解促進

しょう しょう ひと ちいき くりかいそくしん  
障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がい  
のある人の割合が、平成 26 年度末において 50%となることを目指し  
ます。

しょう しょう ひと ちいき くりかいそくしん  
また、障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う  
人の割合が、平成 26 年度末において 50%となることを目指します。

	ねんど H22 年度	ねんど H26 年度
しょう しょう ひと ちいき くりかいそくしん 障がいのある人にとって地域で暮らしやすい まちであると思う障がいのある人の割合 ※ H22 年度は、「障がいのある人に対する 理解が深まってきていると思う障がいの ある人の割合」を推計値として記載。	すいけいち 【推計値】 29.8%	50%
しょう しょう ひと ちいき くりかいそくしん 障がいのある人にとって地域で暮らしやすい まちであると思う人の割合	29.7%	50%

さっぽろし じっし ちょうさ  
※ 札幌市が実施するアンケート調査

## 4 訪問系サービス量の見込み

地域で生活していくために必要な訪問系サービスを、障がいの種別にかかわらず充実していきます。

※ 訪問系サービスの見込量は、各年度における1か月あたりの総量を見込んだものであり、単位の考え方は次のとおりです。

○利用人数：月間の利用人数（実人数）

○時間／月：月間のサービス提供時間数

### (1) 居宅介護（ホームヘルプサービス）【介護給付】

ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事の介護などをおこないます。

単位	H24年度	H25年度	H26年度
利用人数	3,130	3,500	3,910
時間／月	65,410	71,550	79,280

### (2) 重度訪問介護【介護給付】

重度の肢体不自由で常時介護を必要とする方に、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動中の介護などを総合的に行います。

単位	H24年度	H25年度	H26年度
利用人数	270	290	310
時間／月	58,020	62,100	65,400

(3) 重度障害者等包括支援【介護給付】

常時介護を必要とする方であって、介護の必要の程度が著しく高い方に対し、居宅介護などの複数のサービスを包括的に行います。

単位	H24年度	H25年度	H26年度
利用人数	5	10	15
時間／月	2,200	4,400	6,600

(4) 行動援護【介護給付】

知的又は精神障がいにより行動上著しい困難がある方に対し、行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な援護、外出時における移動中の介護などを行います。

単位	H24年度	H25年度	H26年度
利用人数	390	450	520
時間／月	6,840	7,880	9,000

(5) 同行援護【介護給付】

視覚障がいにより、移動に著しい困難がある方に対し、外出時同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護などを行います。

単位	H24年度	H25年度	H26年度
利用人数	400	410	420
時間／月	7,900	8,100	8,300

## 5 日中活動系サービス量の見込み

障がいの種別にかかわらず、地域でいきいきと生活することができるよう、日中活動系サービスを充実していきます。

※ 日中活動系サービスの見込量は、各年度における1か月あたりの総量を見込んだものであり、単位の考え方は次のとおりです。

○ 利用人数：月間の利用人数（実人数）

○ 人日/月：「月間の利用人数」×「1人1か月あたりの平均利用日数」で算出されるサービス量

### (1) 療養介護【介護給付】

医療と常時の介護を必要とする方のうち、次のいずれかに該当する方に、身体能力・日常生活能力の維持・向上のため、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活上の支援を行います。

◆ 筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者等気管切開を伴う人工呼吸器による呼吸管理を行っており、障害程度区分6の方

◆ 筋ジストロフィー患者、重症心身障害者であって、障害程度区分5以上の方

たんい 単位	ねんど H24年度	ねんど H25年度	ねんど H26年度
りようにんずう 利用人数	330	330	330

(2) <sup>せいかつかいご</sup>生活介護 <sup>かいごきゅうふ</sup>【介護給付】

<sup>じょうじかいご</sup>常時介護を必要とする方に対し、<sup>かたたいしゅ</sup>主として<sup>ひるま</sup>昼間において、<sup>しょうがいしゃし</sup>障害者支援施設などで<sup>にゅうよく</sup>入浴、<sup>はい</sup>排せつ、<sup>しょくじ</sup>食事の<sup>かいごとう</sup>介護等を行うとともに、<sup>そうさくてきかつ</sup>創作的活動<sup>どうまた</sup>又は<sup>せいさんかつどう</sup>生産活動の<sup>きかい</sup>機会を<sup>ていきょう</sup>提供します。

<sup>たんい</sup> 単位	<sup>ねんど</sup> H24年度	<sup>ねんど</sup> H25年度	<sup>ねんど</sup> H26年度
<sup>りようにんずう</sup> 利用人数	4,440	4,670	4,900
<sup>にんにち</sup> 人日/ <sup>つき</sup> 月	84,360	88,730	93,100

(3) <sup>じりつくんれん</sup>自立訓練 <sup>きのうくんれん</sup>(機能訓練) <sup>くんれんとうきゅうふ</sup>【訓練等給付】

<sup>しんたいしょう</sup>身体障がいのある方を対象に、<sup>かたたいしょう</sup>身体機能・<sup>しんたいきのう</sup>生活能力の<sup>せいかつのうりよく</sup>維持・<sup>いじ</sup>向上<sup>こうじょう</sup>等のため、<sup>いっていきかん</sup>一定期間、<sup>りがくりょうほう</sup>理学療法や<sup>さぎょうりょうほう</sup>作業療法などの<sup>しんたいてき</sup>身体的リハビリテーションや<sup>ほこうくんれん</sup>歩行訓練、<sup>かじ</sup>コミュニケーション、<sup>くんれん</sup>家事などの<sup>じっし</sup>訓練を実施します。

<sup>たんい</sup> 単位	<sup>ねんど</sup> H24年度	<sup>ねんど</sup> H25年度	<sup>ねんど</sup> H26年度
<sup>りようにんずう</sup> 利用人数	10	10	10
<sup>にんにち</sup> 人日/ <sup>つき</sup> 月	220	220	220



(4) 自立訓練（生活訓練）【訓練等給付】

知的又は精神障がいのある方を対象に、生活能力の維持・向上などのため、一定期間、食事や家事などの日常生活能力の向上のための支援を実施します。

たんい 単位	H24 年度	H25 年度	H26 年度
りようにんずう 利用人数	130	140	160
にんにち つき 人日／月	2,170	2,340	2,670

(5) 就労移行支援【訓練等給付】

一般企業などでの就労を希望する65歳未満の方に、就労に必要な知識及び能力の向上のため、一定期間、事業所内や企業における生産活動などの機会の提供を行うとともに、適性に合った職場探しや就労後の職場定着のための支援を行います。

たんい 単位	H24 年度	H25 年度	H26 年度
りようにんずう 利用人数	430	470	510
にんにち つき 人日／月	7,960	8,700	9,400

(6) 就労継続支援 (A型) 【訓練等給付】

一般就労が困難な65歳未満の方に対し、雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労への移行に向けた支援を行います。

単位	H24年度	H25年度	H26年度
利用人数	910	1,000	1,080
人日/月	17,100	18,800	20,300

(7) 就労継続支援 (B型) 【訓練等給付】

一般就労が困難な方に対し、雇用契約を結ばずに生産活動等の機会の提供を行うとともに、就労に関わる支援を行います。

単位	H24年度	H25年度	H26年度
利用人数	2,680	2,920	3,160
人日/月	46,100	50,220	54,350

(8) 短期入所 (ショートステイ) 【介護給付】

介護する方が病気の場合などに、施設において短期間、入浴、排せつ、食事の介護などの日常生活上の支援を行います。

単位	H24年度	H25年度	H26年度
利用人数	570	630	690
人日/月	4,550	5,030	5,510

## 6 居住系サービス量の見込み

地域における居住の場としてのグループホーム、ケアホームについて、社会福祉法人などに必要な支援を行い充実を図るとともに、地域移行支援・地域定着支援などの推進と併せ、入所施設や病院から地域生活への移行を進めます。

※ 居住系サービスの見込量は、各年度における1か月あたりの総量を見込んだものであり、単位の考え方は次のとおりです。

○ 利用人数：月間の利用人数（実人数）

### (1) 共同生活介護【介護給付】・共同生活援助【訓練等給付】

#### ◆ 共同生活介護（ケアホーム）

主として夜間において、共同生活住居で入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言、就労先その他関係機関との連絡、その他の必要な日常生活上の支援を行います。

#### ◆ 共同生活援助（グループホーム）

主として夜間において、共同生活住居で相談その他の日常生活上の援助を行います。

たんい 単位	H24年度	H25年度	H26年度
りようにんずう 利用人数	1,940	2,220	2,500
ていいんすう 定員数	2,040	2,330	2,630

※ 共同生活介護と共同生活援助を合わせた見込量

## (2) 施設入所支援【介護給付】

主として夜間において、障害者支援施設で入浴、排せつ、食事の介護などを行います。

単位	H24年度	H25年度	H26年度
利用人数	2,200	2,150	2,100

## 7 相談支援サービス量の見込み

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援サービスを充実していきます。

※ 相談支援サービスの見込量は、各年度における1か月あたりの総量を見込んだものであり、単位の考え方は次のとおりです。

○利用人数：月間の利用人数（実人数）

### (1) 計画相談支援

サービスの支給決定におけるサービス等利用計画案を作成し、サービス事業者等と連絡調整を行うとともに、サービス等の利用状況の検証を行い、計画の見直しなどの支援を行います。

	単位	H24年度	H25年度	H26年度
計画相談支援	利用人数	910	2,050	3,800

## (2) 地域相談支援

住宅の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談や、常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等に相談などの支援を行います。

	たんい 単位	ねんど H24年度	ねんど H25年度	ねんど H26年度
ちいきいこうしえん 地域移行支援	りょうにんずう 利用人数	80	80	80
ちいきていちゃくしえん 地域定着支援	りょうにんずう 利用人数	15	15	15

## 8 地域生活支援事業のサービス量の見込み

### (1) 概要

地域生活支援事業は、障がいのある方がその持っている能力や適性に  
応じ自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、住民  
に最も身近な市町村などを中心として、地域で生活する障がいのあ  
る方のニーズを踏まえ、地域の実情に応じた事業形態で市町村や都  
道府県が実施するものです。

### (2) 実施主体

地域生活支援事業は、市町村が行う市町村地域生活支援事業と、  
都道府県が行う都道府県地域生活支援事業とに分かれます。

札幌市では市町村地域生活支援事業を実施します。事業によっ  
ては、事業の全部または一部を団体などに委託して実施します。

### (3) 札幌市における地域生活支援事業のメニュー

地域生活支援事業では、すべての市町村が実施する「必須事業」と、  
市町村各々の判断により行う「任意事業」があります。

札幌市では、これまでの事業実施状況やサービス提供体制を勘  
案し、以下の事業を展開していきます。

ち い き せ い か つ し え ん じ ぎ ょ う い ち ら ん ひ つ す じ ぎ ょ う  
**地域生活支援事業一覧 (必須事業)**

そうだん し え ん じ ぎ ょ う <b>相談支援事業</b>	しょう しゃそうだん し え ん じ ぎ ょ う <b>障がい者相談支援事業</b>
	しょう じ とうりょういく し え ん じ ぎ ょ う <b>障がい児等療育支援事業</b>
	ち い き じ り つ し え ん き ょ う ぎ かい <b>地域自立支援協議会</b>
	じゅうたくにゅうきょとう し え ん じ ぎ ょ う <b>住宅入居等支援事業</b>
	き かんそうだん し え ん <b>基幹相談支援センター</b>
せいねんこうけんせい ど り ょ う し え ん じ ぎ ょ う <b>成年後見制度利用支援事業</b>	
コミュニケーションし え ん じ ぎ ょ う <b>コミュニケーション支援事業</b>	しゅ わ つ う や く し ゃ は け ん じ ぎ ょ う <b>手話通訳者派遣事業</b>
	しゅ わ つ う や く せ っ ち じ ぎ ょ う <b>手話通訳設置事業</b>
	ようやくひっきほうし い ん は け ん じ ぎ ょ う <b>要約筆記奉仕員派遣事業</b>
にちじょうせいかつようぐ きゅうふ じ ぎ ょ う <b>日常生活用具給付事業</b>	
い どう し え ん じ ぎ ょ う <b>移動支援事業</b>	こ べ つ し え ん が た <b>個別支援型</b>
	しゃりょうい そうがた <b>車両移送型</b>
ち い き か つ だ う し え ん き の う き ょ う か じ ぎ ょ う <b>地域活動支援センター機能強化事業</b>	

ちいきせいかつしえんじぎょういちらん にんいじぎょう 地域生活支援事業一覧 (任意事業)		
ふくし じぎょう 福祉ホーム事業		
しんたいしょうがいしゃにゆうよく じぎょう 身体障害者入浴サービス事業		
きゅうしんたいしょうがいしゃ じりつしえん じぎょう りようしゃしえん じぎょう 旧身体障害者自立支援事業 利用者支援事業		
せいかつしえん 生活支援 じぎょう 事業	せいかつくんれんとう 生活訓練等 じぎょう 事業	ちようかくしやう しゃしゃかいせいかつきやうしつかいさい じぎょう 聴覚障がい者社会生活教室開催事業
		しゃかいてきおおくんれん じぎょう オストメイト社会適応訓練事業
		おんせいきのうくんれん じぎょう 音声機能訓練事業
		てんじそくじじやうほう じぎょう 点字即時情報ネットワーク事業
		ちゆうとしつめいしゃしゃかいてきおおくんれん じぎょう 中途失明者社会適応訓練事業
にっちゅういちじしえんじぎょう 日中一時支援事業		
しゃかいさんか 社会参加 そくしんじぎょう 促進事業	スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	きやうしつかいさいとう じぎょう
		てんじこえこうほうとうはっこう じぎょう 点字・声の広報等発行事業
	ほうしんようせい 奉仕員養成 けんしゅう じぎょう 研修事業	しゅわほうしんようせい じぎょう 手話奉仕員養成事業
		ようやくひつきほうしんようせい じぎょう 要約筆記奉仕員養成事業
		てんやくほうしんようせい じぎょう 点訳奉仕員養成事業
		ろうどくほうしんようせい じぎょう 朗読奉仕員養成事業
	じどうしゃうんてんめんきよしゆとく かいぞうほじょ じぎょう 自動車運転免許取得・改造補助事業	
	た その他 しゃかいさんか 社会参加 そくしんじぎょう 促進事業	しやうしゃ そうだんうんえい じぎょう 障がい者あんしん相談運営事業
		しやうしゃ うんえい じぎょう 障がい者ITサポートセンター運営事業
		ざいたくじゅうどしやうしゃ じかみ じぎょう 在宅重度障がい者(児)紙おむつサービス事業
しんたいしょうがいしゃふくしでんわせっち じぎょう 身体障害者福祉電話設置事業		
もうしゃつうやく はけん じぎょう 盲ろう者通訳・ガイドヘルパー派遣事業		
はったつしょうがいしゃしえん うんえい じぎょう だいと したくれい 発達障害者支援センター運営事業 (大都市特例)		



※ 地域生活支援事業のサービス見込量に係る単位の考え方は次のとおりです。

○利用人数：月間の利用人数（実人数）

○延べ利用人数：年間の総利用件数

○延べ利用時間：年間の総利用時間

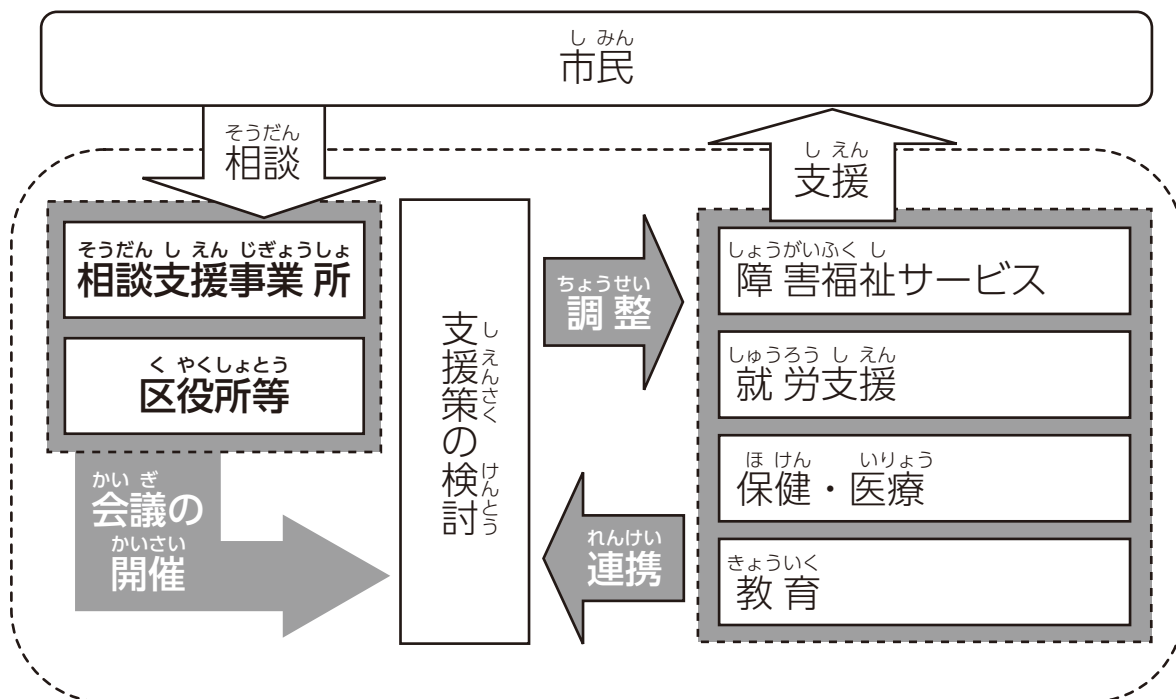
## ア 相談支援事業

障がいのある方が地域で自立した日常生活や社会生活を送るために、本人・家族・介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のために必要な援助を行います。

また、地域自立支援協議会を設置し、地域の相談支援体制やネットワークの構築を行うとともに、相談支援機能強化事業を実施します。

	単位	H24年度	H25年度	H26年度
障がい者相談支援事業	箇所数	18	19	20
障がい児等療育支援事業	箇所数	6	6	6
地域自立支援協議会	実施の有無	あり	あり	あり
住宅入居等支援事業	実施の有無	あり	あり	あり
基幹相談支援センター	設置の有無	—	あり	あり

そうだん し えん  
相談支援イメージ



イ せいねんこうけんせいど りようしえんじぎょう  
成年後見制度利用支援事業

せいねんこうけんせいど りよう ひつよう みと ほんにん しんぞくとう もうした  
成年後見制度の利用が必要と認められ、本人や親族等による申立て  
きたい ちてきしょう しゃ せいしんしょう しゃ しちょうもうした  
が期待できない知的障がい者、精神障がい者について、市長が申立て  
おこな ひよう ふたん せいねんこうけんせいど りよう しえん  
を行い、費用を負担して成年後見制度の利用を支援します。

たんい 単位	ねんど H24 年度	ねんど H25 年度	ねんど H26 年度
じっし 実施の有無	あり	あり	あり
じつり 実利用人数	15	15	15

## ウ コミュニケーション支援事業

聴覚、言語機能、音声機能の障がいのために意思疎通を図ることに  
 支障がある障がい者などに、手話通訳や要約筆記を行う方を派遣し、  
 コミュニケーションを支援します。

	たんい 単位	H24年度	H25年度	H26年度
手話通訳者 派遣事業	利用人数	530	540	550
	の延べ派遣人数	6,340	6,540	6,750
手話通訳者 設置事業	通訳者数	65	65	65
	(うち専従通訳者数)	(11)	(11)	(11)
要約筆記奉仕員 派遣事業	利用人数	80	80	80
	の延べ派遣人数	830	830	830

※ 延べ派遣人数：年間の総派遣件数

## エ 日常生活用具給付事業

障がいのある方に、自立生活支援用具等の給付を行います。

	たんい 単位	ねんど H24年度	ねんど H25年度	ねんど H26年度
かいご くんれん し えんようぐ 介護・訓練支援用具	けんすう 件数	126	128	130
じりつせいかつ し えんようぐ 自立生活支援用具		780	790	800
ざいたくりょうようとう し えんようぐ 在宅療養等支援用具		300	305	310
じょうほう いし そつう し えんようぐ 情報・意思疎通支援用具		370	375	380
はいせつかんり し えんようぐ 排泄管理支援用具		28,250	28,530	28,810
きょたくせいかつどうさ ほじょようぐ じゅうたくかいしゅうひ 居宅生活動作補助用具（住宅改修費）		104	105	106

※ けんすう ねんかん そうきゅう けんすう  
件数：年間の総給付件数

## オ 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がいのある方などに、外出のための支援  
を行います。

	たんい 単位	ねんど H24年度	ねんど H25年度	ねんど H26年度
こべつ し えんがた 個別支援型	かしょすう 箇所数	385	400	415
	りょうにんずう 利用人数	2,990	3,050	3,100
	の りょうじかん 延べ利用時間	444,270	452,920	461,730
しゃりょう い そうがた 車両移送型	の りょうにんずう 延べ利用人数	6,400	6,400	6,400

## カ 地域活動支援センター機能強化事業

創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流などを行う地域活動支援センターに対する運営費補助を行い、障がいのある方の地域生活の支援を促進します。

	たんい 単位	ねんど H24年度	ねんど H25年度	ねんど H26年度
きそてきじぎょう 基礎的事業	かしょすう 箇所数	68	63	58
	りょうにんずう 利用人数	750	700	650
きのうきょうかじぎょう 機能強化事業	かしょすう 箇所数	59	54	49

※ 既存の地域活動支援センター事業所が障害福祉サービス事業所に移行するものがあり、箇所数・利用人数は減少傾向になると見込まれます。

## キ 福祉ホーム事業

現に住居を求めている障がいのある方に対して、低額な料金で居室その他の設備を利用させるとともに、日常生活に必要な支援を行います。

たんい 単位	ねんど H24年度	ねんど H25年度	ねんど H26年度
ていいん 定員	45	45	45

## ク 身体障害者入浴サービス事業

訪問などにより入浴サービスを提供し、身体障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持などを図ります。

たんい 単位	ねんど H24年度	ねんど H25年度	ねんど H26年度
りようにんずう 利用人数	130	130	130
のりようにんずう 延べ利用人数	3,970	3,970	3,970

## ケ 旧身体障害者自立支援事業 利用支援事業

身体障害者自立支援事業（身体障がい者向け公営住宅に居住している重度の身体障がい者に介助サービスを提供する事業。自立支援給付への移行に伴い平成20年3月31日事業終了）を利用していた方に対し、自立支援給付のサービスにない駐車場の除雪、庭の除草及び共用部分の清掃の支援を行います。

たんい 単位	ねんど H24年度	ねんど H25年度	ねんど H26年度
りようにんずう 利用人数	6	6	6

コ せいかつくんれんとうじぎょう  
生活訓練等事業

しょう障がいのある方などに対して日常生活上必要な訓練などを行います。

	<small>たんい</small> 単位	<small>ねんど</small> H24年度	<small>ねんど</small> H25年度	<small>ねんど</small> H26年度
<small>ちょうかくしょう</small> 聴覚障がい者社会 <small>せいかつきょうしつかいさいじぎょう</small> 生活教室開催事業	の <small>りょうにんずう</small> 延べ利用人数	1,100	1,100	1,100
オストメイト <small>しゃかいてきおうくんれんじぎょう</small> 社会適応訓練事業	の <small>りょうにんずう</small> 延べ利用人数	300	300	300
<small>おんせいきのうくんれんじぎょう</small> 音声機能訓練事業	の <small>りょうにんずう</small> 延べ利用人数	800	800	800
<small>てんじそくじじょうほう</small> 点字即時情報 ネットワーク事業	の <small>りょうにんずう</small> 延べ利用人数	4,900	4,900	4,900
<small>ちゅうとしつめいしゃ</small> 中途失明者 <small>しゃかいてきおうくんれんじぎょう</small> 社会適応訓練事業	の <small>りょうにんずう</small> 延べ利用人数	1,200	1,200	1,200

## サ 日中一時支援事業

障がいのある方などの家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を図るために、障がいのある方等を一時的に預かり介護します。

たんい 単位	ねん ど H24 年度	ねん ど H25 年度	ねん ど H26 年度
り よう にん ず う 利 用 人 数	860	900	940
の り よう にん ず う の 延 べ 利 用 人 数	21,310	22,300	23,340
か し よ う す う 箇 所 数	70	75	80

## シ スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

スポーツ・レクリエーション活動を通じて、障がいのある方の体力増強、交流、余暇などに資するため及び障がい者スポーツを普及するため、各種スポーツ・レクリエーション教室を開催します。

たんい 単位	ねん ど H24 年度	ねん ど H25 年度	ねん ど H26 年度
の り よう にん ず う の 延 べ 利 用 人 数	1,100	1,100	1,100



## ス 点字・声の広報等発行事業

文字による情報入手が困難な障がいのある方のために、点訳、音訳その他障がいのある方に分かりやすい方法により、広報さっぽろの情報など障がいのある方が地域生活をするうえで必要度の高い情報を定期的に提供します。

たんい 単位	H24 年度	H25 年度	H26 年度
りようにんずう 利用人数	860	860	860

## セ 奉仕員養成研修事業

聴覚障がい者等のコミュニケーション支援に必要な手話通訳者や要約筆記奉仕員、点訳朗読奉仕員を養成します。

	たんい 単位	H24 年度	H25 年度	H26 年度
しゅわほうしいんようせいじぎょう 手話奉仕員養成事業	にんずう 人数	420	420	420
ようやくひっきほうしいんようせいじぎょう 要約筆記奉仕員養成事業	にんずう 人数	50	50	50
てんやくほうしいんようせいじぎょう 点訳奉仕員養成事業	にんずう 人数	100	100	100
	の にんずう 延べ人数	3,000	3,000	3,000
ろうどくほうしいんようせいじぎょう 朗読奉仕員養成事業	にんずう 人数	650	650	650
	の にんずう 延べ人数	1,000	1,000	1,000

※ 人数：養成事業の受講人数（実人数）

の にんずう 延べ人数：養成事業の年間総受講件数

ソ **自動車運転訓練費・改造補助事業**

自動車運転免許の取得及び自動車の改造に要する費用の一部を助成

します。

たんい 単位	H24 ねんど 年度	H25 ねんど 年度	H26 ねんど 年度
りょうにんずう 利用人数	55	55	55

タ **障がい者あんしん相談運営事業**

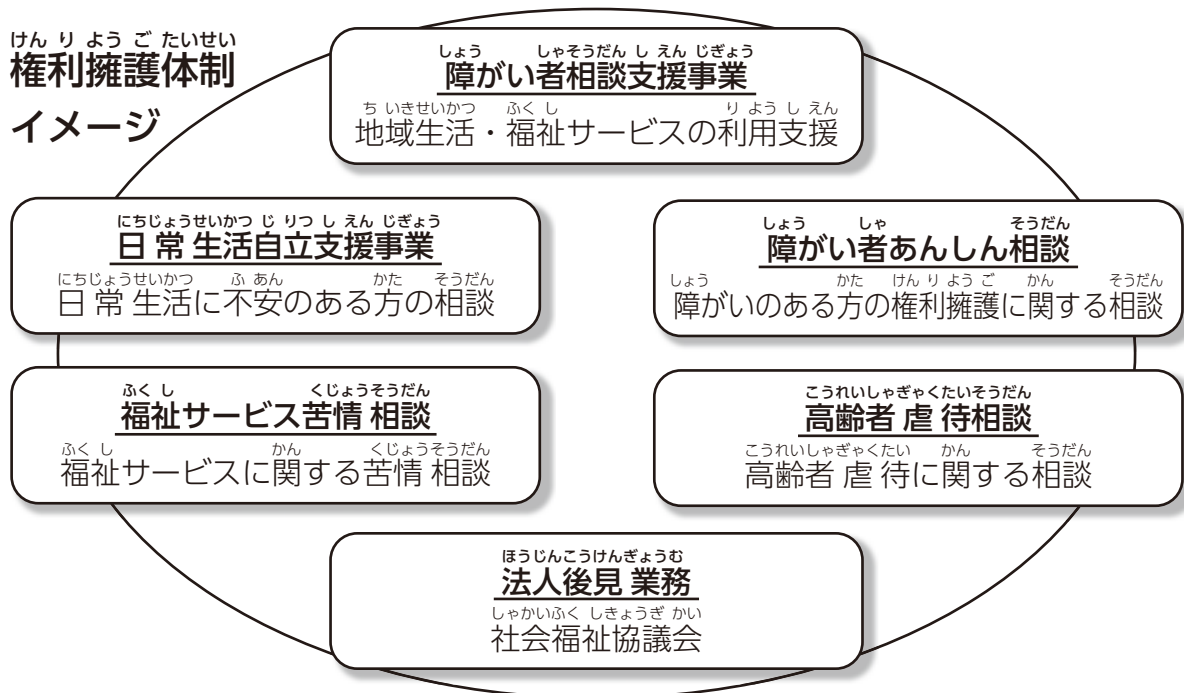
障がいのある方の権利擁護に係る相談等に応じるため、常設相談窓

口を設置し、専門的な相談に応じるほか、専門機関への情報提供を行

います。

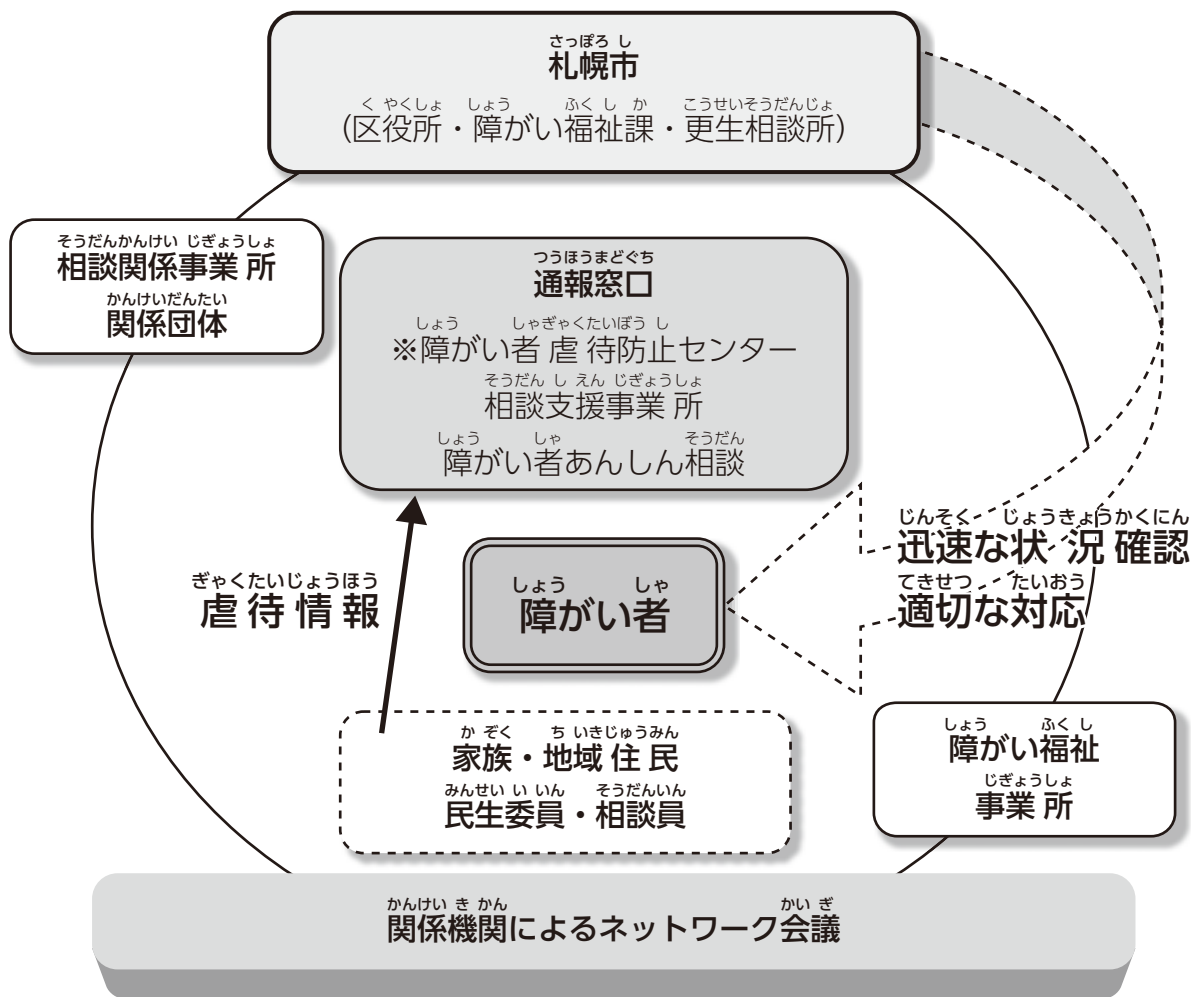
たんい 単位	H24 ねんど 年度	H25 ねんど 年度	H26 ねんど 年度
かしょうすう 箇所数	1	1	1

けんりょうごたいせい  
**権利擁護体制**  
イメージ



◆ 虐待情報への対応について

障がいのある方への虐待が疑われる情報（虐待情報）に対して迅速に対応するため、①障がい者虐待防止センターや相談支援事業所等に通報窓口を設置、②障害程度区分認定や判定時における状況確認、③虐待情報の適切な管理及び必要な範囲での情報共有や取組を行い、関係機関と連携して、速やかに状況を確認し、適切に対応できる体制の整備を図っています。



※ 障がい者虐待防止センターについては、平成 24 年 10 月の設置を目指します。

## チ 障がい者 IT サポートセンター運営事業

障がいのある方の情報通信技術の利用機会や活用能力の向上を図るため、障がい者 IT サポートセンターを拠点として、IT を活用した障がいのある方の社会参加促進を図ります。

たんい 単位	H24 年度	H25 年度	H26 年度
かしょう 箇所数	1	1	1

## ツ 在宅重度障がい者（児）紙おむつサービス事業

感覚マヒなどにより常時おむつを使用している在宅の重度障がい者（児）に紙おむつを支給します。

たんい 単位	H24 年度	H25 年度	H26 年度
りょうにんずう 利用人数	1,430	1,490	1,540
のりょうにんずう 延べ利用人数	17,180	17,820	18,480

## テ 身体障害者福祉電話設置事業

難聴者または外出困難な在宅重度身体障がい者に対し電話を貸与し、コミュニケーション及び緊急連絡の手段を確保します。

たんい 単位	H24 年度	H25 年度	H26 年度
りょうにんずう 利用人数	50	45	40

※ 現在、新規貸与は実施していない。

ト **もう** **しゃつうやく** **はけんじぎょう**  
**盲ろう者通訳・ガイドヘルパー派遣事業**

しかく ちょうかく りょうほう しょう かつ  
 視覚と聴覚の両方に障がいのある方のコミュニケーションや外出  
 しえん かつやく はけん  
 支援のために、通訳・ガイドヘルパーを派遣します。

たんい 単位	H24 ねんど 年度	H25 ねんど 年度	H26 ねんど 年度
りょうにんずう 利用人数	20	21	22

ナ **はったつしょうがいしゃ しえん** **うんえいじぎょう**  
**発達障害者支援センター運営事業**

はったつしょうがいしゃ しえん きよてん じへいしょう はったつしょう  
 発達障害者支援センターを拠点として、自閉症など発達障がいの  
 かつ かぞく たい しえん そうごうてき おこな  
 ある方やその家族に対する支援を総合的に行います。

たんい 単位	H24 ねんど 年度	H25 ねんど 年度	H26 ねんど 年度
かしょうすう 箇所数	1	1	1
りょうにんずう 利用人数	850	850	850

## 9 サービス見込量等確保のための方策

### (1) 訪問系サービス

障害福祉サービスについての基本的な考え方(63ページ)に基づき、以下の視点に立って、必要な訪問系サービスを提供できるようサービス基盤を整備するとともに、質の向上に努めます。

- ◆障がい特性に応じた質の高いサービスを障がい種別にかかわらず提供するため、事業者の参入を促進し、引き続きサービス基盤の整備に努めていきます。
- ◆個々のニーズに応じた適切なサービス提供に向け、居宅介護事業所などを対象とした個別支援計画作成研修を引き続き実施していきます。
- ◆円滑なサービス提供を確保するため、事業者への必要な情報提供や事業者間の連携の強化を図っていきます。

### (2) 日中活動系サービス

障害福祉サービスについての基本的な考え方(63ページ)に基づき、以下の視点に立って、希望する障がい者に日中活動系サービスを提供できるようサービス基盤を整備するとともに、質の向上に努めます。

- ◆新規事業者の参入を促進するとともに、身近な地域に必要な日中活動の場を確保するため、引き続きサービス基盤の整備に努めていきます。
- ◆それぞれのニーズに応じたきめ細かなサービスを提供するため、先駆的な取組の調査・研究をし、事業者への周知・働きかけを

おこな  
行 っています。

- ◆**円滑なサービス提供を確保するため、事業者への必要な情報提供や事業者間の連携の強化を図っています。**

### (3) **居住系サービス**

しょうがいのある方の地域生活への移行を促進するため、以下の視点に立って、住まいの場となる居住系サービスの充実に努めます。

- ◆**地域での居住の場となるグループホーム、ケアホーム等について、北海道、事業者と協働し、設置を推進していきます。**
- ◆**必要な施設整備については、国、北海道と調整し、引き続き実施していきます。**

### (4) **相談支援サービス**

しょうがいのある方の地域生活への移行や地域定着を促進するため、以下の視点に立って、障害福祉サービスの適切な利用を支える相談支援の充実に努めます。

- ◆**それぞれのニーズに応じたきめ細かな支援を提供するため、先駆的な取組の調査・研究をし、事業者への周知・働きかけを行っていきます。**
- ◆**円滑なサービス提供を確保するため、事業者への必要な情報提供や事業者間の連携の強化を図っています。**

## (5) 地域生活支援事業

障がいのある方の生活の安心を確保し、自立と社会参加の促進に向け、さまざまなニーズに対応したサービスを提供するため、以下の視点に立って、地域生活支援事業の充実に努めます。

- ◆ 地域での自立した生活を支えるため、相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付事業など多彩なメニューを引き続き実施していきます。
- ◆ 相談支援事業を拡充し、地域における相談支援体制の充実に図るとともに、地域自立支援協議会を活用した地域のネットワークづくりを一層推進していきます。
- ◆ 個々のニーズに応じたきめ細かなサービスの提供ができるように、事業のあり方について適宜検討していきます。



# 10 サービス見込量一覧

サービス種別		単位	24年度	25年度	26年度	
訪問系	居宅介護	利用人数	3,130	3,500	3,910	
		時間/月	65,410	71,550	79,280	
	重度訪問介護	利用人数	270	290	310	
		時間/月	58,020	62,100	65,400	
	重度障害者等 包括支援	利用人数	5	10	15	
		時間/月	2,200	4,400	6,600	
	行動援護	利用人数	390	450	520	
		時間/月	6,840	7,880	9,000	
	同行援護	利用人数	400	410	420	
		時間/月	7,900	8,100	8,300	
	居住系	共同生活介護	利用人数	1,940	2,220	2,500
			定員数	2,040	2,330	2,630
施設入所支援		利用人数	2,200	2,150	2,100	
相談系	計画相談支援	利用人数	910	2,050	3,800	
	地域移行支援	利用人数	80	80	80	
	地域定着支援	利用人数	15	15	15	

※ 利用人数：月間の利用人数（実人数）

※ 時間/月：月間のサービス提供時間数

サービス種別		単位	24年度	25年度	26年度
日中活動系	療養介護	利用人数	330	330	330
	生活介護	利用人数	4,440	4,670	4,900
		人日/月	84,360	88,730	93,100
	自立訓練 (機能訓練)	利用人数	10	10	10
		人日/月	220	220	220
	自立訓練 (生活訓練)	利用人数	130	140	160
		人日/月	2,170	2,340	2,670
	就労移行支援	利用人数	430	470	510
		人日/月	7,960	8,700	9,400
	就労継続支援 (A型)	利用人数	910	1,000	1,080
		人日/月	17,100	18,800	20,300
	就労継続支援 (B型)	利用人数	2,680	2,920	3,160
		人日/月	46,100	50,220	54,350
	短期入所	利用人数	570	630	690
人日/月		4,550	5,030	5,510	

※ 利用人数：月間の利用人数（実人数）

※ 人日/月：「月間の利用人数」×「1人1か月あたりの平均利用日数」で算出されるサービス量

サービス種別	たんい 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度	ねんど 26年度
そうだんしえんじぎょう 相談支援事業				
そうだんしえんじぎょう 相談支援事業				
しょう しゃそうだんしえんじぎょう 障がい者相談支援事業	かしょうすう 箇所数	18	19	20
しょう じとうりょういくしえんじぎょう 障がい児等療育支援事業	かしょうすう 箇所数	6	6	6
ちいきじりつしえんきょうぎかい 地域自立支援協議会	じっしうむ 実施の有無	あり	あり	あり
きかんそうだんしえん 基幹相談支援センター	せっちうむ 設置の有無	—	あり	あり
じゅうたくにゅうきょとうしえんじぎょう 住宅入居等支援事業	じっしうむ 実施の有無	あり	あり	あり
せいねんこうけんせいどりょうしえんじぎょう 成年後見制度利用支援事業	じっしうむ 実施の有無	あり	あり	あり
	じつりょうにんずう 実利用人数	15	15	15
コミュニケーション支援事業				
しゅわつうやくしゃはけんじぎょう 手話通訳者派遣事業	りょうにんずう 利用人数	530	540	550
	の はけんすう 延べ派遣数	6,340	6,540	6,750
しゅわつうやくせっちじぎょう 手話通訳設置事業	つうやくしゃすう 通訳者数	65	65	65
	(うち専従)	(11)	(11)	(11)
ようやくひつきほうしいんはけんじぎょう 要約筆記奉仕員派遣事業	りょうにんずう 利用人数	80	80	80
	の はけんすう 延べ派遣数	830	830	830

※ 利用人数：月間の利用人数（実人数）

※ 延べ派遣件数：年間の総派遣件数

サービス種別 しゅべつ	たんい 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度	ねんど 26年度
にちじょうせいかつようぐ きゅうふ じぎょう 日常生活用具給付事業				
かいご くんれん しえんようぐ 介護・訓練支援用具	けんすう 件数	126	128	130
じりつせいかつ しえんようぐ 自立生活支援用具	けんすう 件数	780	790	800
ざいたくりよう ごとう しえんようぐ 在宅療護等支援用具	けんすう 件数	300	305	310
じょうほう いし そつう しえんようぐ 情報・意思疎通支援用具	けんすう 件数	370	375	380
はいせつかんり しえんようぐ 排泄管理支援用具	けんすう 件数	28,250	28,530	28,810
きょたくせいかつどう さ ほ じょようぐ 居宅生活動作補助用具	けんすう 件数	104	105	106
いどう しえん 移動支援				
こべつ しえんがた 個別支援型	かしょすう 箇所数	385	400	415
	りょうにんずう 利用人数	2,990	3,050	3,100
	の りょうじかんずう 延べ利用時間数	444,270	452,920	461,730
しゃりょう い そうがた 車両移送型	の りょうにんずう 延べ利用人数	6,400	6,400	6,400
ちいきかつどう しえん 地域活動支援センター				
き そてき じぎょう 基礎的事業	かしょすう 箇所数	68	63	58
	りょうにんずう 利用人数	750	700	650
きのうきょう か じぎょう 機能強化事業	かしょすう 箇所数	59	54	49

※ けんすう ねんかん そうきゅうふ けんすう    ※ りょうにんずう げっかん りょうにんずう じつにんずう  
※ 件数：年間の総給付件数    ※ 利用人数：月間の利用人数（実人数）

※ の りょうにんずう ねんかん そうりょうけんすう    ※ の りょうじかん ねんかん そうりょうじかん  
※ 延べ利用人数：年間の総利用件数    ※ 延べ利用時間：年間の総利用時間

サービス種別	たんい 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度	ねんど 26年度
ふくし 福祉ホーム	ていいん 定員	45	45	45
しんたいしょうがいしゃにゆうよく 身体障害者入浴サービス事業	りょうにんずう 利用人数	130	130	130
	のりょうにんずう 延べ利用人数	3,970	3,970	3,970
きゅうしんたいしょうがいしゃじりつしえんじぎょうりょうしゃしえんじぎょう 旧身体障害者自立支援事業利用者支援事業	りょうにんずう 利用人数	6	6	6
せいかつしえんじぎょう 生活支援事業				
せいかつくんれんとうじぎょう 生活訓練等事業				
ちょうかくしょうしゃしゃかいせいかつきょうしつかいさいじぎょう 聴覚障がい者社会生活教室開催事業	のりょうにんずう 延べ利用人数	1,100	1,100	1,100
しゃかいてきおうくんれんじぎょう オストメイト社会適応訓練事業	のりょうにんずう 延べ利用人数	300	300	300
おんせいきのうくんれんじぎょう 音声機能訓練事業	のりょうにんずう 延べ利用人数	800	800	800
てんじそくじじょうほう 点字即時情報ネットワーク事業	のりょうにんずう 延べ利用人数	4,900	4,900	4,900
ちゅうとしつめいしゃしゃかいてきおうくんれんじぎょう 中途失明者社会適応訓練事業	のりょうにんずう 延べ利用人数	1,200	1,200	1,200
にっちゅういちじしえんじぎょう 日中一時支援事業	りょうにんずう 利用人数	860	900	940
	のりょうにんずう 延べ利用人数	21,310	22,300	23,340
	かしょうすう 箇所数	70	75	80

※ 利用人数：月間の利用人数（実人数）

※ 延べ利用人数：年間の総利用件数

サービス種別	たんい 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度	ねんど 26年度
しゃかいさんかそくしんじぎょう 社会参加促進事業				
スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	のりようにんずう 延べ利用人数	1,100	1,100	1,100
てんじこえこうほうとうはっこうじぎょう 点字・声の広報等発行事業	りようにんずう 利用人数	860	860	860
ほうしいんようせいけんしゅうじぎょう 奉仕員養成研修事業				
しゅわほうしいんようせいじぎょう 手話奉仕員養成事業	にんずう 人数	420	420	420
ようやくひつきほうしいんようせいじぎょう 要約筆記奉仕員養成事業	にんずう 人数	50	50	50
てんやくほうしいんようせいじぎょう 点訳奉仕員養成事業	にんずう 人数	100	100	100
	のりようにんずう 延べ人数	3,000	3,000	3,000
ろうどくほうしいんようせいじぎょう 朗読奉仕員養成事業	にんずう 人数	650	650	650
	のりようにんずう 延べ人数	1,000	1,000	1,000
じどうしゃうんてんめんきよしゆとくかいぞうほじょじぎょう 自動車運転免許取得・改造補助事業	りようにんずう 利用人数	55	55	55
たしゃかいさんかそくしんじぎょう その他社会参加促進事業				
しょうしゃそだんうんえいじぎょう 障がい者あんしん相談運営事業	かしょうすう 箇所数	1	1	1
しょうしゃうんえいじぎょう 障がい者ITサポートセンター運営事業	かしょうすう 箇所数	1	1	1
ざいたくじゅうどしょうしゃじ 在宅重度障がい者(児)	りようにんずう 利用人数	1,430	1,490	1,540
かみじぎょう 紙おむつサービス事業	のりようにんずう 延べ利用人数	17,180	17,820	18,480
しんたいしょうがいしゃふくしでんわせっちじぎょう 身体障害者福祉電話設置事業	りようにんずう 利用人数	50	45	40
もうしゃつやくはけんじぎょう 盲ろう者通訳・ガイドヘルパー派遣事業	りようにんずう 利用人数	20	21	22
はったつしょうがいしゃしえんうんえいじぎょう 発達障害者支援センター運営事業	かしょうすう 箇所数	1	1	1
	りようにんずう 利用人数	850	850	850

※ 利用人数：月間の利用人数（実人数） ※ 延べ利用人数：年間の総利用件数

※ 人数：養成事業の受講人数（実人数） ※ 延べ人数：養成事業の年間総受講件数